

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

## 鶴ヶ島産サフランを使用した清涼飲料水と中間素材等の商品開発、製造及び販売

鶴ヶ島産サフランを活用した新商品開発・販売を通じて、鶴ヶ島の新たな特産品の開発と農業者の所得向上を目指す。

### 連携体

農林漁業者

シンボライズファーム（農業）

自家消費向けに栽培してきたサフランの実用育成栽培に取組み、清涼飲料水・中間素材に適したサフランを安定供給する。

中小企業者

(株)ひびき（食料品製造業）

サフランの清涼飲料水や中間素材等を商品化し、20代から40代の働く女性を応援していくというコンセプトで販売展開する。

連携参加者

城西大学、女子栄養大学、鶴ヶ島商工会、関越病院

サフランの科学的分析、調理品の開発、地元の小売店・飲食店への販路開拓、病院食の開発など一体となって支援する。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構関東本部

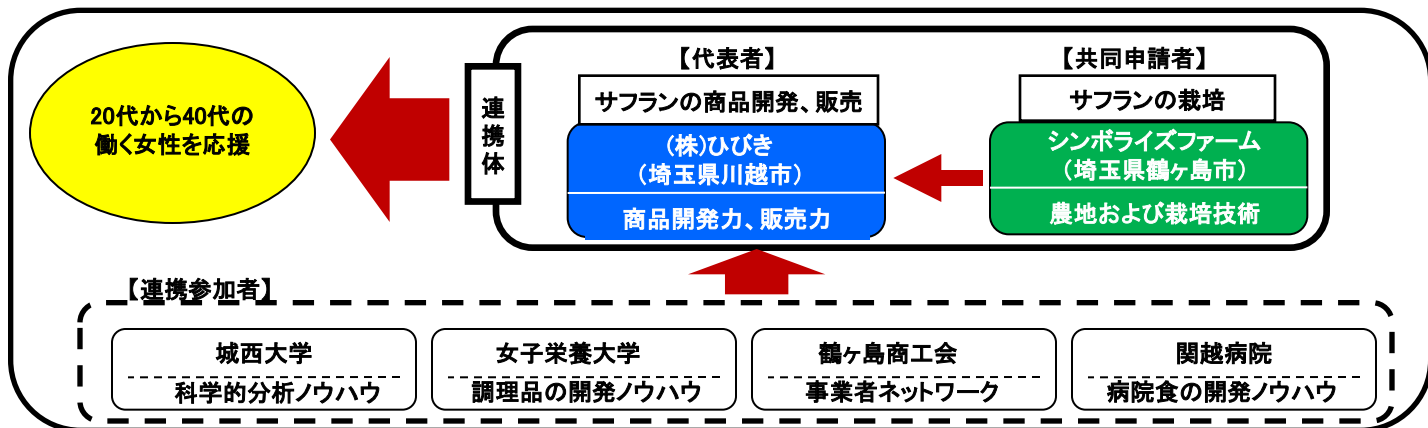
### 連携の経緯

シンボライズファームの働きかけによって鶴ヶ島をサフランの一大産地に復活しようという取り組みがスタートし、大学、商工会、病院、商工業者などが参加し、「鶴ヶ島サフラン・スーパーサポーターズ」が結成された。その中で商品開発力、販売力を有する(株)ひびきとシンボライズファームが連携し、サフランを用いた商品開発と販売に取り組むことになった。



### 連携に当たっての課題や工夫等

課題として「サフランの安定供給」「清涼飲料水・中間素材の普及」がある。サフランの収穫には時間と手間が大変かかるため、地元の農家や市民などスーパーサポーターズが収穫作業等を支援する。「清涼飲料水・中間素材の商品化と普及」は、(株)ひびきとシンボライズファームが共同で商品化を行い、(株)ひびきの既存店舗のほか、百貨店やサービスエリア等での販売、商工会を通じた市内事業者への普及と地域ブランド化を推進する。



### 連携による効果

農林漁業者

4年で500万円の売上高増加、サフランの産地化に貢献

サフランの安定供給による売上高増加と鶴ヶ島市の農業者の所得増加、サフラン産地化による地域活性化を目指す。

中小企業者

5年で6,750万円の売上高増加、地域ブランド化に貢献

サフランを使用した商品の開発、販売展開により、新たな付加価値の創出と地域ブランド化に貢献する。

### 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社ひびき  
TEL : 049-237-1000  
E-mail : operationdep.div.r001@hibiki-food.jp

所在地 : 埼玉県川越市霞ヶ関北2-3-2  
FAX : 049-234-4911  
ホームページ : <http://www.hibiki-food.jp>